

## 緊急会議！ラオスと地域の未来を考えよ！

所属	岐阜県立下呂特別支援学校	実践者	辻 真美 (L)
対象	高等部1～3年(知的障がい有する生徒)	時間数	5時間 (45分×5)
場所	多目的室	実践教科	外国語
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化に触れることを通して、多様性や価値観の違いに気づく。</li> <li>・ラオスにおける課題について知ることで、自分の地域の良い部分や課題について考える。</li> </ul>		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	<b>ラオスに出会おう</b> ・世界の知っている国を3分間で挙げる。 ・ラオスの「衣・食・住」の写真や動画を見て、ラオスについて興味をもつ。 ・ラオスの「びっくり！写真」とその説明文を見て、ラオスの「びっくりクイズ」を考える。	パワーポイント フォトランゲージ
	2	<b>ラオスの「困った！」について一緒に考えよう</b> ・ラオスクイズ(1問) ・病院から連想することを挙げる。 ・ラオスの病院の「困った」状況の写真を見て、このままだとどうなってしまうか？を考える。 ・患者、病院関係者、国の立場から改善点を考える。 ・医療現場で働く青年海外協力隊員のメッセージビデオを見る。	ポップコーン方式 派生図 プリント ビデオ(サヤブリー県病院)
	3	<b>ラオスの課題から地域について考えよう</b> ・ラオスクイズ(2問) ・地域の良い面と悪い面を連想する写真から、ロールプレイをする。 ・理想の地域についてイメージを膨らませる。	ロールプレイ プレーンストーミング
	4	<b>自分たちの地域の未来について考えよう</b> ・ラオスクイズ(2問) ・地域に関するクイズ(市章、花、木)と市民憲章を読み地域の良さに気づく。 ・「このまま大切にしたいこと」「変化していくといいこと」を考える。	プリント 対比表
	5	<b>自分たちの理想の未来を共有しよう</b> ・理想の将来像をまとめて、発表する。 ・仲間の共感できるアイデアに「いいね」のシールをはる。	指標づくり
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラオスについて知ることを通して、楽しみながら多様な価値観に気づくことができた。</li> <li>・ラオスの課題について共に考えることを通して、「課題意識」を高めることができ、またその気づきを自分たちの生活につなげて考えることができた。</li> </ul>		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒達の気づきや考えを「どう行動に移すのか」までは、学習を深めることができなかつたので、他の授業や地域に関する学習と関連させて、生徒達の学習の幅を広げていきたい。</li> </ul>		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動グループを5名×5グループで構成した。</li> <li>・各グループに教員を配置し、グループアクティビティでは進行役を務め、話し合いの参加が難しい生徒に対して支援を行った。</li> </ul>		

## [ 授業実践の詳細 ]

### 1 時限目 「ラオスに出会おう」

#### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「世界の国」・・・グループで協力して、3分間で知っている国名を A3用紙に書き出す。何個挙げたか数えて発表する。
- ② 「ラオスをのぞこう」・・・「衣・食・住」をテーマにした写真や動画を見て、ラオスに興味をもつ。
- ③ 「ラオスクイズ」・・・教師が見たラオスの「びっくり！写真」を5つのグループにそれぞれ1枚配り、じっくりと写真を見る。その後、写真の説明が書かれたカードを読み、ラオスの「びっくりクイズ」を考える。

#### この時限のねらい

- ・ラオスの写真や動画を通して、ラオスの様子を知る。
- ・日本とラオスの文化の違いに気づく。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 5名×5グループで行い、各グループ平均20の国名を挙げる事ができた。たくさん国名を挙げる事ができたグループは喜んでいて、世界の事について学ぶための雰囲気作りができた。
- ◇ 初めてラオスの服装、食事、住居などの生活の様子の写真を見て、どの生徒も日本と違う様子に素直に驚いていた。特に托鉢に関する写真や動画に関しては、自分たちと同じ世代の子供が学校に通っていないという事実に大変驚いた様子であった。また、食に関しては「美味しそう！食べたい！」といった発言もあり関心が高かった。
- ◇ 写真を見て日本と異なる部分に気付くだけでなく、クイズを制作する活動を取り入れることで、自国の文化との比較という視点をもって異文化に出会い、関心を深める事ができた。

#### 3 使用した教材

<教材1> 教師海外研修での写真と動画

<教材2> ラオスの「びっくりクイズ」用の写真と説明カード(以下5種)



##### 「ごはんはカゴの中！」

- ・ラオスの主食は餅米
- ・ラオス語でお米は「カオニョ」と呼びます。
- ・「ティッフカオ」と呼ばれる竹のカゴを使うよ。
- ・片手で、一口大に指で丸めて口の中に入れるよ。
- ・餅米の中には、黒い米や赤い米もまじっているよ。



##### 「お皿の上には・・・ココロギ！」

- ・ラオスの珍味の一つにココロギがあるよ。
- ・ラオス人はみんな大好き！
- ・揚げたココロギとミカンの葉と一緒に和えてあります。
- ・見た目はちょっとビックリだけど香ばしくておいしいよ。
- ・日本でも、イナゴを揚げた食べたりするよね。



##### 「ラオスでも人気！日本のアニメ」

- ・日本のアニメはラオスでも大人気！
- ・ラオス語吹き替え版のDVDが売られています。
- ・ドラえもんやドラゴンボールのテーマソングを日本語で歌えるラオス人の子どもにも出会ったよ。
- ・日本で外国のアニメで人気なものは何かな？



##### 「一番美人はだ～れ？」

- ・ラオス人の男女(小学生～大人)に「美人」と思う人にシールを貼ってもらったよ。
- ・1位は 88 まゆゆ (清田麻衣)
- ・ラオス人の「美人」は黒髪、ストレート、ロングヘア。
- ・「笑顔が素敵」というのも人気の理由。笑顔は世界共通だね。



##### 「トイレトーパーはどこだ？」

- ・ほとんどのトイレにトイレトーパーがありますが、時々、トイレトーパーがないトイレがあるよ。
- ・写真左側にある水をすくって手で洗います。
- ・トイレで紙を使わない国は他にもあります。
- ・便器には座りません。便器の上に和式トイレのように足をのせて用を足します。

## 2 時限目「ラオスの『困った!』について一緒に考えよう」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「ラオスクイズ①」…アイスブレーキングとして、前時にグループで考えたラオスの「びっくりクイズ」を行う。
- ② 「病院といえば」…病院という単語から連想される単語をポップコーン方式で挙げる。
- ③ 「ラオスの《困った》を考えよう」…サヤブリー県病院内の物資不足や不衛生な環境等の「困った」状況がわかる写真や説明文から、このままだとどんなことが起きてしまうのかを派生図で考える。まとめた模造紙を回覧し、同じ意見やなるほどと思ったアイデアに○印を付ける。
- ④ 「緊急会議」…患者、病院患者、国の立場から改善策を考え、用紙に記入する。(右表)
- ⑤ 「青年海外協力隊員のメッセージ」…現地で働く青年海外協力隊員のビデオメッセージを視聴し、実際に医療現場で支援を行っている人がいることを学ぶ。

#### この時限のねらい

- ・ラオスの病院の困った状況について知り、解決策を共に考える。
- ・青年海外協力隊について知る。

「緊急会議！」困った状況を改善するためにできることってなんだろう？

患者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者たちがゴミを出したら自分たちで片づける</li> <li>・体調管理</li> <li>・仕事をする</li> <li>・自分も掃除する</li> </ul>
病院関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃する</li> <li>・ナースコールを作る</li> <li>・付添い用イスをおく</li> <li>・清潔を保つ</li> <li>・清掃員を増やす</li> <li>・呼び鈴をつける</li> <li>・機器を増やす</li> <li>・支持棒を増やす</li> </ul>
国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備を安全にする</li> <li>・国と国が助け合う</li> <li>・車イスの技術を教える</li> <li>・金の寄付</li> <li>・毛布と衣服を寄付</li> <li>・医師、ナースを増やす</li> <li>・他の国から看護士を連れてくる</li> <li>・国がお金を出して、医療用品を買う</li> <li>・もっといい車イスを増やす</li> <li>・病院を増やす</li> </ul>

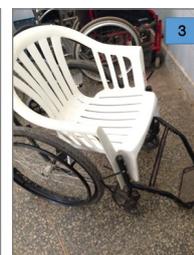
### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「ラオスのトイレ」→Q. ラオスのトイレには何かがありません。それは何でしょう？ A. トイレトペーパー
- ◇ 医師、看護師、清潔、きれい、ベッド、注射等生活経験の中で知っている単語がたくさん挙がった。
- ◇ 日本の病院をイメージした後であったため、写真からみるラオスの現状にショックを受けている様子も見られた。写真を隅から隅までじっくり観察し、それぞれの視点で発見した気づきを仲間と共有できていた。「困った」状況であることは、写真や説明文から十分に理解できたため、その後の派生図を使ったアクティビティでは、どのグループも劣悪な環境から考えられる様々な状況を想定することができた。
- ◇ 各グループを会議の場とし、この状況を改善するためにできることについて考え、自分たちの意見を「患者、病院関係者、国」の3つのカテゴリーに分類して考えた。困った状況を何とかしたいと、生徒一人一人が真剣に考えることができ、看護師派遣、車イス製造技術等の国際協力の視点からのアイデアもいくつか挙がった。
- ◇ 自分たちが真剣に話し合った課題を、実際に現地で取り組んでいる人からメッセージとして聞くことができ、集中してビデオに見入っていた。また、卒業後は就労や就職をする生徒達であるため、海外で働いている人がいるという現実にも目を向けることができた。



### 3 使用した教材

- <教材3> ラオスの病院の写真(右)、青年海外協力隊員(サヤブリー県病院 福島さん)のビデオメッセージ
- <教材4> 自作プリント(上表)



### 3 時限目「ラオスの課題から地域について考えよう」

#### 1 子どもの活動の流れ

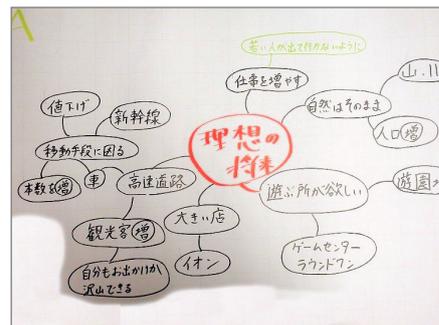
- ① 「ラオスクイズ②」
- ② 「下呂ってどんどこ？」・・・地域の良い面と悪い面を連想する写真やイラストから、プリントの吹き出し部分に台詞を入れ、自分たちの地域について多面的に捉える。
- ③ 「理想の地域について考えよう」・・・地域の良い部分や思い描く理想の町についてブレインストーミングをし、イメージを膨らませる(右図)。

#### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「日本人 No.1 美女は誰だ in ラオス(アンケート)」→Q. ラオス人が思う美人は誰? ①近藤春菜②渡邊麻友③仲間ゆきえ A. ②
- ◇ 「日本のアニメの DVD」→Q. ラオスで人気の日本の物は何でしょう①アニメ②お菓子③着物 A. ①
- ◇ 他の授業で地域の学習をしていることもあり、良い面については「温泉に入っただけのんびりできる」「冬の花火はきれい」など書きやすい様子だった。悪い面については「買い物できる場所が少ない」「山ばかりだし、電車の本数も少ない」など田舎である地域の不便な部分を書き出す生徒が多かった。しかし、現実にはあまり地域から出ない生徒も多いため、客観的に地域を捉える事の難しさがあった。
- ◇ 理想の地域について考え始めると、イメージが膨らみ、「若者が遊べる場所がある」「大型モールで買い物が便利になる」「高速道路が走っている」など開発や発展を連想する意見や、「自然はそのままにしたい」「自然でいっぱい遊ぶ」など現状を維持する意見など、思い描く様々な将来像を挙げる事ができた。

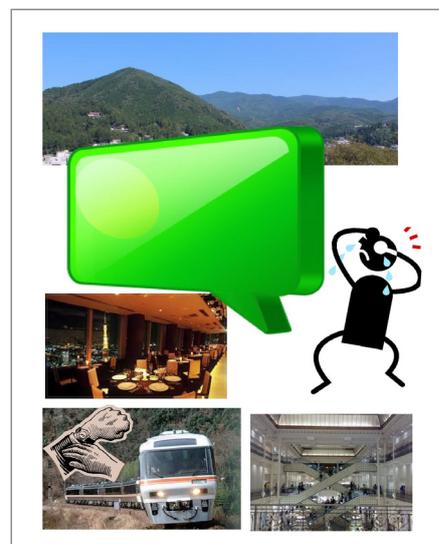
#### この時限のねらい

- ・ラオスの課題から地域の課題に視点を移し、地域の良い面と悪い面に気づく。
- ・地域の理想の将来像について考える。



#### 3 使用した教材

<教材5> ロールプレイング用自作プリント



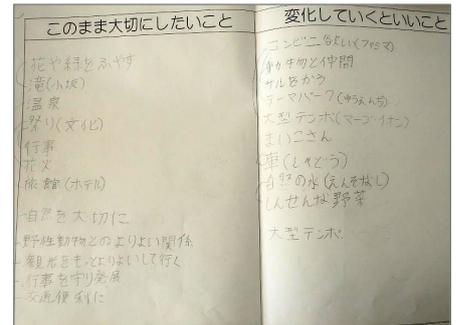
## 4 限目「自分たちの地域の未来について考えよう」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「ラオスクイズ③」
- ② 「知ってる？私たちの町」・・・地域に関するクイズ(市章、市の花、市の木)に挑戦し、地域について興味をもつ。市民憲章を日本語と英語で読み、地域の人々が目指す地域像について知る。
- ③ 「大切にしたいこと、変化していくといいこと」・・・地域の良さについて再度認識した上で、理想の将来像について対比表を作り、具体的に考える(右図)。

#### この時限のねらい

- ・自分たちの地域の目指す姿について知る。
- ・自分たちの地域の良さに気づき、理想の将来について具体的に考える。



### 2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 「カオニャオ(赤米)」→Q. ラオスの主食はなんでしょう？  
①米②とうがらし③ゼリービーンズ A. ①  
「コオロギの揚げ物」→Q. お皿の上にあるのはなんでしょう？  
①イナゴ②コオロギ③カエルの腸 A. ②
- ◇ 3択クイズ形式にしたことで、全ての生徒が興味をもって参加することができた。市民憲章をじっくりと読み込むことで、地域の良い部分や将来守っていくべき大切なことについて改めて気づくことができた。
- ◇ 地域の良さを認めつつ、地域の不便さや今後、発展を期待したいことをどのグループもたくさん挙げる事ができた。大切にしたい部分と発展してほしい部分の間で、「自然も残したいのに、大型店舗ができたら環境破壊につながってしまうのではないか」「人が増えてにぎわうのは嬉しいけど、ゴミも増えてしまう」など、持続可能な未来について考え、頭を悩ませながらそれぞれの意見を交換する場が見られた。

### 3 使用した教材

- <教材6> 自作プリント
- <教材7> 対比表



## 5 時限目「自分たちの理想の未来を共有しよう」

### 1 子どもの活動の流れ

- ① 「理想の未来について考えよう」・・・前時に話し合った内容を参考に、理想の未来について5つの指標にまとめる。
- ② 「理想の未来を共有しよう」・・・各グループで模造紙にまとめた5つの指標を発表する。
- ③ 「いいね！シールをはろう」・・・発表を聞いて、「なるほど」「いいアイデア」「賛成」と思ったグループや項目に1人1枚ずつシールをはる。

#### この時限のねらい

- ・自分たちの理想の将来を共有する。
- ・開発と環境保全の課題点にも気づきながら、明るい未来を思い描くことができる。

### 2 子どもの活動の成果・反応

◇ 生徒達が思い描く理想の未来

- 1 牧場を拡大し、豚や牛を有名にする。
- 2 JR やバスの本数を増やす。
- 3 自然と温泉を大切にする。
- 4 大型スーパーを建て売り上げを増やす。
- 5 名物を増やす。

- 1 カルチャーを受け継ごう。
- 2 ネイチャーを守ろう。
- 3 フレンドリーに行こう。
- 4 ピースで行こう。
- 5 パワーアップしよう。

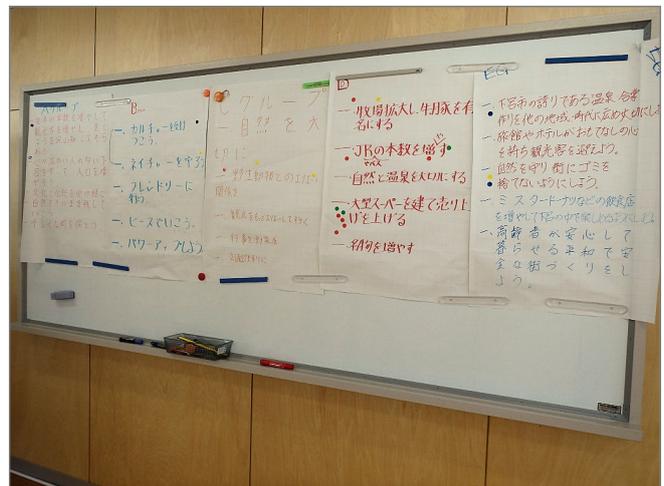
- 1 下呂市の誇りである温泉・合掌造りを他の地域、時代に広め大切にしよう。
- 2 旅館やホテルがおもてなしの心を持ち、観光客を迎えよう。
- 3 自然を守り街にゴミを捨てないようにしよう。
- 4 飲食店を増やして下呂の中で楽しめるようにしよう。
- 5 高齢者が安心して暮らせる平和で安全な街づくりをしよう。

◇ どのグループも自分たちの指標を堂々と発表することができた。これまでの学習で考えてきた、地域の良さをつなげていきたいという思いはどのグループにも共通して見られた。また、今後の発展してほしい部分や現在の課題についての内容もアピールすることができた。

◇ 自分たちの考えた指標にシールがはられることで、共感され、認められたことを感じ、嬉しい様子であった。一番シールが多かったのが、「大型スーパーを建て売り上げを増やす。」であった。地域への愛着をもちつつ、将来に期待する意見が多かったことが読み取れた。

### 3 使用した教材

<教材8> 指標用模造紙、シール



## ■ 全体を通して

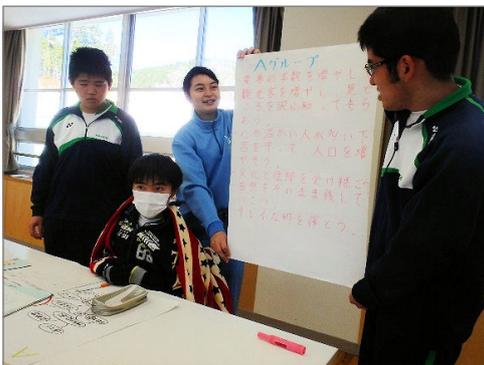
### 1 授業の様子



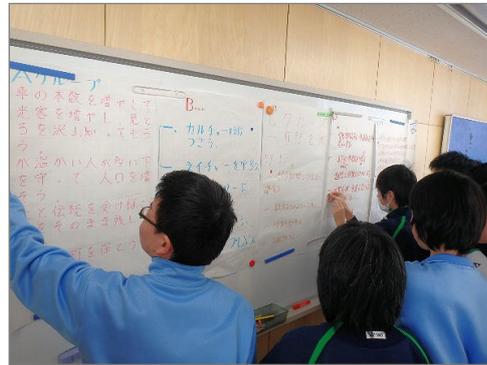
<写真1>自分たちで考えたラオスクイズ



<写真2>派生図を使って理想の将来について考える



<写真3>5つの指標の発表



<写真4>「いいね！シール」で仲間に共感

#### 授業後の生徒の反省より

- ◇ 日本は他国に比べてすごくいい病院や学校等があるというのを学ぶことができた。私たちはこのいい環境にいるのだから、嫌なことがあってもへこたれることなく生活していきます。
- ◇ ラオスの病院は、日本の病院と違うのが知れたのでよかったし、地域のことをたくさん考えて自分の意見が言えたので良かったです。
- ◇ ラオスでの習慣や食事やトイレの特徴を学びました。日本のアニメもたくさんあり楽しんでもらえたらうれしいと思いました。気づいたことは、お金がこの国では足りていないということです。もっとたくさんの物や服などをあげたいと思いました。そして、オシャレなどの楽しみやゲーム、絵、音楽、勉強の楽しみ方なども知ってほしいです。それで笑顔になってくれたらとても嬉しいです。人々も長生きしてほしいです。日本との交流を楽しみにまっています。
- ◇ 異文化は勉強をしないと知ることは出来ないと思います。世界と日本を知ることで、自分達の住むところの良さに気づけるとと思います。また、世界の色々な地域での生活に触れることが出来たと思います。病院側の改善すべきこと、病院に来る人が改善すべきことが沢山ありました。いつか、環境の良い病院になることを、明るい未来へ向かっていけるよう、互いに助け合っていく必要があると思います。下呂にも5つの守っていくことがありました。その中で、互いに助け合っていくことも含まれています。だから、世界との共通点に気づき改善されていかなくてはいけないことだと感じました。

### 2 参考文献・資料

- 1) 下呂市ホームページ <http://www.city.gero.lg.jp/gyousei/>